

## 令和3年度 3つの重点分野の取り組み関係

- 「活気あふれる明るい町」と「町外と活発な交流のある町」の2つのビジョンに向け、アフターコロナも見据え、これまで将来につながる様々な取り組みの準備を進めてきたところ
- 「新型コロナへの対応を最優先」で取り組むとともに、様々な取り組みを「軌道に乗せる年」と位置付け、着実に足場を着実に固めていくために、3つの重点分野で「細心」かつ「大胆」に取り組む。

### 1 健康で安心な町民の暮らしの充実

- (1) 新型コロナへの対応
  - ① ワクチン接種のスムーズな実施に向けた準備
  - ② 新IP端末等を活用した認知症予防等アプリの検討（外出控えが続く中での自宅のできる健康づくり）
  - ③ 不安や生活困窮への総合相談体制（健康福祉課を窓口に関係機関とも連携）
  - ④ 町民を差別、偏見等の被害から守るための取組（コロナ差別等防止条例に基づく啓発・相談等）
- (2) 健康長寿の延伸
  - ① 健康状態・脳の健康度チェックアプリで手軽にできる健康づくり（エーザイ株式会社と連携）
  - ② ピロリ菌検査の受診強化（壮年期からの対策強化のため事業所とも協力）
  - ③ 麻布大学との長寿カニズム研究の共同実施の検討、島根県立大学との健康志向の山くじらメニュー開発
  - ④ 高齢者・障がい者の介護予防・生きがい対策の新たな健康教室（社会福祉法人わかば会と連携）

### 2 美郷町の強みや新技術等を活かした取り組みの進展

- (1) 美郷バレー構想『美郷町の勝ち残りをかけた最重要戦略』
  - ① 「おおち山くじら研究所」による参画団体との連携・地域との連携の強化
  - ② 「麻布大学フィールドワークセンター」の進出・稼働による町の活性化 『高校はないけど大学のあるまち』
  - ③ 取り組みの更なる前進 新製品の实用化 [(株)テザック]、企業進出 [タイガー(株)]、雇用・来町者の増加、関係人口の拡大
- (2) バリ等マス村との交流
  - ① 経済交流 技能実習生の受け入れ開始（国際交流員を配置した支援）
  - ② 民間交流 中学生同士のテレビ電話（邑智・大和の両中学校）
  - ③ 文化交流 ガムランの寄託・ガムラン演奏会、バリ文化アドバイザー等  
「マス村との文化交流の深化・国内におけるバリ文化の発信地を目指す」
- (3) ICT・未来技術活用事業の加速
 

外部知見活用、情報・未来技術の活用により過疎地域特有の深刻な課題の解決を図る『周回遅れのトップランナー』

  - ① 情報・未来技術戦略課の新設（業務特化・専門化、外部人材の招聘）
  - ② IP映像端末を活用した遠隔診療、買い物支援サービスの検討
  - ③ 美郷町公式LINEのサービス充実の検討など（ゴミ収集・行政のお知らせ、行政相談など）
  - ④ ドローンの活用・実証実験（物流、防災、観光、農林業、産業など様々な分野の課題解決に向け）
  - ⑤ 町民カード キャッシュ決済と行政付与ポイントが統合した仕組み構築（地域内循環と町民の利便性向上）
- (4) 美郷町の強みを活かしたテーマのビジネスコンテスト 「ファーストペンギン」の発掘

### 3 活動人口、交流人口、定住人口の拡大

- (1) 「活動人口」（良い関係人口に近い概念）拡大の取り組み（専門職大学院と連携）
- (2) 「石見ワイナリーホテル美郷」オープンと併せた観光振興・地域振興の取組、交流人口の拡大
- (3) ふるさと納税 SNS 等での情報発信の強化・返礼品の拡充（地元産品とユニークな品目「みさとと。グッズ・バリグッズ・地域の名人シリーズ」）による財源確保・町の魅力発信
- (4) 情報発信力の強化 HP 特設サイト・SNS による美郷町の強みや注力事業の発信、「みさとと。」案内看板（リブランディング事業）
- (5) 定住推進施策の進化
  - ① 住宅施策のリニューアル 若者世代の住宅新築の支援（空き家解体も含め）
  - ② 民間の力を活用した賃貸住宅の建設の促進
- (6) サテライトオフィスの設置（都市から美郷町への新しい人の流れをつくる）  
美郷町で快適に暮らし、働く環境づくり（旧役場を活用・テレワーク可能なサテライトオフィス）